

【美浦中学校だより】

屋敷平通信



<第8号>

令和6年11月29日

美浦村立美浦中学校

文責：土居

校訓

自治 友愛 勤労

いよいよ、新制服のサンプル展示・制服決定のアンケートが行われます！

11月7日（木）、第4回制服検討委員会が行われました。前は、9月に実施した児童・生徒・保護者アンケート結果を元に検討し、制服サンプルを数種類に絞りました。今回は、実際にサンプルを組み合わせ、ネクタイ・リボンも含めて検討し、3パターンに絞り込みました。今後は、新制服のサンプルの展示と共に、新制服決定のためのアンケート（村内小学校4～6年生・本校全生徒・村内小学校4～6年および本校全学年保護者）を行う予定です。準備ができましたらお知らせしますので、新制服決定のためのご協力お願いいたします。



前回絞り込んだサンプルの説明を聞く様子



実際にサンプルの組み合わせを検討する様子



決定したサンプル3パターン
⇒現在、昇降口に展示中です

将来の自分自身のために… 未来ある美浦村のために…

「アントレプレナーシップ教育」を柱に総合的な学習の時間を進めています

本校は、教育活動において「対話」を大事にした授業づくりを日々推進しています。その上で、本校の総合的な学習に時間において、「アントレプレナーシップ教育」を柱に置き、探求的な学びを進めています。

「アントレプレナーシップ」とは、「起業家精神」と訳されることが多いため、起業家のみに求められる素質と思われることが多いですが、「自ら社会課題を見つけ、課題解決に向かってチャレンジしたり、他者との協働により解決策を探索したりすることができる知識・能力・態度を身につける教育」であり、これから将来のある本校の生徒にとって必要な力を身につける教育と捉え、本校で取り組み始めたところです。

今回は、その学習活動の一部を紹介します。

【3年】地域リソースにおける課題解決に取り組んでいます。平和学習において村のリソースを生かそうとしている「プロジェクト茨城」の方による授業（平和教育講演会）を受け、その後、実際に鹿島海軍航空隊跡に行きました。現在、「鹿島海軍航空隊跡地」が抱える課題点や解決方法について考えたり、今後どのように地域リソースを生かしていくことができるのか、中学生の立場から考えたりしているところです。

【2年】これまでの職場体験にアントレプレナーシップ教育の視点を取り入れた活動を行っています。また、村の地域おこし隊の方や地元の企業の方、学生兼起業家の本校卒業生による授業、さらに、文科省の事業の一環であるアントレプレナーシップ大使によるオンライン授業を受けたりするなど、アントレプレナーシップの素地を養っています。



【3年】平和教育講演会の様子



【3年】鹿島海軍航空隊跡を見学する様子



【2年】地元の企業の方による授業の様子



【2年】アントレプレナーシップ大使によるオンライン授業の様子

夏休みには、教職員が研修を行いました。（株）ガイアックスの吉川佳佑先生をお迎えし、「なぜ今、起業体験なのか？」のテーマのもと、体験を通して探究学習との親和性、アントレプレナーシップの醸成の教育的な効果等について研修を行いました。今後、教職員も生徒と共に学び、考えながら、教育活動を進めていきたいと考えています。そして、未来の美浦村の発展につなげていければと思います。

これら3年および2年の学習活動の成果については、12月5日（木）の授業参観で発表する予定です。